

6 0 1 1 - 1 7 9 0  
平成30年12月25日

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成30年度病害虫発生予察特殊報第3号について

平成30年度病害虫発生予察特殊報第3号を発表したので送付します。

---

## 平成30年度病害虫発生予察特殊報第3号

1 病害虫名：ランンキュラス葉化病

2 病原菌名：*Candidatus Phytoplasma asteris*

3 作物名：ランンキュラス

### 4 発生確認の経過

- 1) 平成30年3月、西臼杵地区のビニルハウス栽培のランンキュラスにおいて、花が緑化する症状（図1）や株の叢生症状（図2）が認められた。本症状からファイトプラズマの感染が疑われたため、本センターで16SリボゾームRNA遺伝子解析を行った結果、*Candidatus Phytoplasma asteris*が確認され、ランンキュラス葉化病であると診断した。
- 2) 本病は1996年に国内で初めて確認され、その後、香川県（平成29年5月2日特殊報発表）で発生が確認されている。

### 5 病原菌の特徴

- 1) ファイトプラズマは植物の篩管に寄生し、感染植物に花器の緑化・葉化や株の萎縮・叢生など、特徴的な形態変化を引き起こすことが知られている。
- 2) ファイトプラズマはヨコバイ類や栄養繁殖を介して伝搬することが知られているが、本病の詳しい感染経路は確認されていない。

### 6 防除対策

- 1) 発病株の早期発見に努め、発病株や発病が疑われる株は直ちに除去する。
- 2) 除去株の周辺にあった株は、極力増殖源として使わないようにする。
- 3) ヨコバイ類の防除対策を徹底する。



図1 緑化した花（品種：シュノンソー）



図2 叢生症状の株(品種:セルベール)

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場 病害虫防除・肥料検査課  
(病害虫防除・肥料検査センター) 森下・倉永

TEL :0985-73-6670 FAX :0985-73-7499

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

ホームページ : <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>